

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|---|--------|----------|
| ○事業所名 | 保育所等訪問支援コア | | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年2月1日 | | ～ | R8年2月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) | 4 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年2月1日 | | ～ | R8年2月20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) | 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | R8年2月1日 | | ～ | R8年2月20日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) | 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年3月20日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 児童発達支援サービス利用と訪問支援を契約している方が多いため、療育先の様子と保育園での様子を見ることが出来る。保育園、保護者、訪問支援サービスと各々でできることを確認して取り組める。 | サービスを開始する前に保護者、訪問先、訪問支援員で集まりアセスメントの話し合いを実施。困りごとの優先順位や信頼構築のもと訪問を開始することが出来る。 | 訪問後の様子を、それぞれの場面でさらに確認できるとよい。今年度は多くの先生方から前回の取り組みの振り返りの回答が頂けた。 |
| 2 | 保護者様とよくコミュニケーションがとれている。 | 訪問記録を保護者様と保育園にお渡しして3者共通の理解として取り組んでいる。 | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 訪問職員が児童指導員と訪問支援員の兼務のため頻繁に何うことができない。短期サイクルで、定期的にという要望には対応が難しい。 | 保育所等訪問支援員が少ない。 児童発達支援サービスでの利用児の実際の様子を見れていない訪問支援員もいる。 | 研修などに参加をすすめ新しい訪問支援員を増員する。 日々の様子を事業所職員に聞いたり報告などを読んで把握するようにしている。 |
| 2 | 本人と家族の困り感を忘れずに保育所への訪問、保育士の方の困り感の解消を考えると。一番大切なのは、本人が困っていないかということ。安心安全に楽しく過ごしてもらいたい。 | 家庭環境、両親ともに就労などではあるが、保育園や福祉サービスに任せきりにならないようにしたい。 | 保護者や家庭も地域の中で共に歩んでいけるように柔軟に対応していきたい。 |
| 3 | | | |